

基本理念、基本方針の検討

- 計画骨子
- こどもや若者の声を聴く取組について
- こどもや若者の声を聴く取組結果から見えた実態
- 基本方針（案）
- 基本理念（案）
- 施策体系（案）
- スケジュール

計画骨子

I : 計画の策定に当たって	<ol style="list-style-type: none">1. 計画策定の背景2. 計画策定の目的3. 計画の位置づけ4. 計画の対象と期間5. 計画策定への取組6. 計画の点検・評価
II : 高知市の現状と課題	<ol style="list-style-type: none">1. 高知市のこどもたちを取り巻く環境2. こども・若者の現状3. こどもワークショップの結果4. 高知市の課題
III : 計画の基本的な考え方	<ol style="list-style-type: none">1. 基本理念2. 基本方針
IV : 施策の展開	<ol style="list-style-type: none">1. 施策体系2. 重点施策3. 取組
V : 資料編	<ol style="list-style-type: none">1. 高知市子ども・子育て支援会議答申2. 高知市子ども・子育て支援会議委員名簿3. 計画策定の経過4. 高知市子ども・子育て支援会議条例5. 用語解説

別紙 計画素案参照

子ども・子育て支援事業計画からこども計画に合わせて内容変更

別紙 計画素案参照

子ども・若者からの意見聴取の結果と課題をまとめる

今回審議（後述）

次回、審議予定

（令和8年3月下旬予定）

子ども・子育て支援事業計画から大きく変更なし

子どもや若者の声を聴く取組について

子ども計画の策定に当たっては、「計画の対象となる子ども・若者や子育て当事者等の意見を幅広く聴取して反映させることが必要」とされています（子ども基本法 第11条）

子どもたちからの意見聴取の実施状況

取組内容	実施時期	対象者
子ども向けアンケート調査の実施	令和7年11月→ 実施済み	対象者：小学5年生～高校2年生 Webアンケートにて実施（別紙 調査報告書）
若者向けアンケート調査の実施	令和7年10月→ 実施済み	対象者：18歳～39歳 Webアンケートにて実施（別紙 調査報告書）
子どもワークショップ	令和7年12月→ 実施済み 令和8年2月実施予定(高校生)	対象者：小学生～高校生 グループワーク方式で対面にて実施 2月28日に高校生と桑名市長・神谷副市長との意見交換会を実施予定
関連団体からの意見聴取		対象者：子ども関連団体 対面のインタビュー形式にて実施予定
子どもの保護者向けアンケート調査	令和5年12月→ 実施済み	対象者：市内在住の就学前児童の保護者 郵送・Webアンケートにて実施

子どもや若者の声を聴く取組結果から見た実態



アンケート調査 (子ども・若者)

本市在住・在勤・在学の
18歳～39歳の若者
有効回答数 **1,750件**

本市に通学する
小学5年生～高校2年生
有効回答数 **3,398件**

見えた実態

若者

「今、幸せだと思う」**86.2%**
「今の自分が好き」**66.2%**
「今の暮らしに満足している」
73.6%



「将来に明るい希望を持っている」
53.9%
「孤独を感じている」**42.2%**

小・中・高校生

「今、幸せだと思う」**92.7%**
「今の自分が好き」**72.1%**
「高知市が好き」**91.9%**
「将来したい仕事(夢)がある」
71.4%



「悩みや不安がある」**75.6%**
「高知市に住み続けたい」**48.3%**
「その仕事(夢)を高知市で
叶えられる」**32.8%**

子育て世代

※R5子ども・子育て支援に関するニーズ調査より

「子育てに関する相談がしやすい」に対して、「満足」**6.6%**
「子育てと仕事の両立がしやすい」に対して、「満足」**8.0%**
「地域ぐるみで子育てを行う雰囲気がある」に対して、「満足」**6.0%**



アンケート調査 (子ども・若者)

本市在住・在勤・在学の
18歳～39歳の若者
有効回答数 **1,750件**

本市に通学する
小学5年生～高校2年生
有効回答数 **3,398件**

自由意見

若者

- ・子どもたちが大人になったときに過ごしやすい社会にしてほしい
- ・**子育てしやすい社会**にしたい
- ・若者が**住みやすいと思える高知**になってほしい
- ・子どものためにより良い暮らしになるようにしたい
- ・あらゆる世代・属性の人たちが**互いにつながり支え合える地域**を目指して取り組むことが大切
- ・年齢に関係なく、**ひとりひとりがつながる社会**になればいい

小・中・高校生

- ・**色々な人と関わる施設**を作ってほしい
- ・**人と人が繋がれる場所**がほしい
- ・みんなが仲良く、誰もが嫌な思いをしない街を作ってほしい
- ・**地域の人**がいつも挨拶してくれてうれしい



ワークショップ (小・中・高校生)

小学5・6年生
5校 35名が参加

中学1～3年生
3校 18名が参加

高校1・2年生
3校 16名が参加

自由意見

小学生

- ・ 自然と触れ合える場所
- ・ 楽しく学べる場所
- ・ **みんなで交流できる場所**
がほしい

中学生

- ・ 自然とのつながり
- ・ 静かに集中できる学習環境
- ・ **多様な人々との交流の場**
- ・ 実用的な設備改善
- ・ 居場所に必要なのは**居心地の良さ**
を求めている

高校生

【高知市のいいところ】

- ・ 水や空気がきれいで、自然が豊か
- ・ おいしい食べ物がたくさんあり、新鮮な食材が手に入る
- ・ 図書館が大きい、地域のお祭りがたくさんある

【改善したいところ】

- ・ 遊ぶ場所が少ない
- ・ 交通が不便
- ・ 若い人が少ない

こどもや若者の声を聴く取組(アンケート・ワークショップ)結果から
見えたギャップや生の声は、高知市として解決すべき重要な課題



これらの課題解決を目指すため、
基本理念・基本方針等を検討

基本方針（案）

1 こども・若者の思いが叶えられるようにします

あらゆる場面でこども・若者の権利が保障されるように配慮し、普及・啓発に努めるとともに、こども・若者自身が好きなことやしたいことを実現でき、将来の夢をもてるように、体験活動や交流の場づくりを進めていきます。

また、こども・若者が将来の見通しを持って自ら主体的な選択ができるよう、多様な選択肢や可能性を知り、考えることができるような機会づくりに取り組みます。

2 子育て世帯が安心とゆとりを実感できるようにします

安心して余裕をもって子育てができるよう、妊娠前から出産、子育てのそれぞれのライフステージにおいて、切れ目のない子育て支援サービスや保育サービス等の充実に努め、「ひとりじゃない」と思えるつながりを届けます。

また、多様な家族形態に配慮しながら、それぞれが安心してこどもを産み育てやすい環境づくりを進めるとともに、こども・若者一人ひとりの成長や発達、生活環境に応じて適切な支援を行います。

3 地域や社会がこども・若者を中心に考えられるようにします

こども・若者や子育て世帯に関わる関係機関同士が連携し、地域ぐるみで支える仕組みづくりを進め、こどもや若者が地域や社会の大人に見守られ、大切にされていると実感できる社会をつくっていきます。

また、あらゆる機会を通じて、広く市民や地域、企業等に、こども・若者と子育て世帯を社会全体で支えていくことの必要性を発信するとともに、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について普及・啓発に努めます。

基本理念（案）

こども・若者の今を支え、みんなで創るつながりのあるまち

基本理念の解釈

「今を支え」に込めた意味（権利と幸福の尊重）

・・・こどもや若者を、一人の人間として、個性や権利を尊重し、それぞれのペースで育つ「今、この瞬間」を自分らしく、幸せに過ごせることを最優先に考える内容としました。

「みんなで創る」に込めた意味（主体的参加と共創）

・・・こどもや若者自身がまちづくりのパートナーとして意見を表明し、主体的に関わることができる環境を目指します。また、こども、家庭、地域、企業、行政などがそれぞれの立場で手を取り合い、多世代でまちづくりを推進していく姿勢を表しています。

「つながりのあるまち」に込めた意味（孤独の解消と定住意向）

・・・「困ったときはお互い様」と言える精神的なセーフティネットや、孤独や孤立を防ぐ多様な居場所やコミュニティを世代を超えてつくっていくことを目指す内容としました。地域の大人に見守られ、大切にされているという実感を育むことで、一度高知を離れても「戻ってきたい」、あるいは「住み続けたい」と思える、心の拠り所としてのまちを目指します。

上位計画との整合性

上位計画の1つである「高知市地域福祉活動推進計画」の理念や考え方とも整合性・関連性を図っており、地域福祉活動推進計画とともに進めることで、こども・若者、子育て家庭の環境が改善し、次世代の地域の担い手であるこどもたちが育成され、地域福祉活動が活性化する好循環を目指します。

⇒暮らしやすいまちづくりが進み、高知で暮らしたい、将来帰ってきたいというこどもや若者、子育て世帯を増やし、まち・ひと・しごと創生本部で進める人口減少課題への対応にもつながります。

施策体系（案）

基本理念	基本方針	基本目標	取組
こども・若者の今を支え、みんなで創るつながりのあるまち	こども・若者の 思いが叶えられるように します	目標① こども・若者の権利を保障し、自分らしく 過ごすための支援	<ol style="list-style-type: none"> 1 こどもの権利についての啓発・普及 (NEW) 2 こどもの意見表明・参加の促進 (NEW) 3 こどもたちが安心して過ごせる居場所づくり (NEW)
		目標② こどもたちの健やかな成長への支援	<ol style="list-style-type: none"> 1 こどもの学びや体験の支援 【5-(3)】 2 こどもの健康管理 【1-(2)】 3 食育の推進 【1-(3)】 4 生きる力の育成に向けた教育【5-(1)（不登校のこどもへの支援を除く）】 5 こどもの健全育成 【5-(2)】 6 キャリア教育の推進 (NEW) 7 こころの健康づくり (NEW) 8 若者の就労支援 (NEW) 9 結婚を希望する若者への支援 (NEW)
	子育て世帯が 安心とゆとりを実感でき るようにします	目標③ 安心して子育てができる環境の整備	<ol style="list-style-type: none"> 1 妊娠前から切れ目のない支援 【1-(1)】 2 小児救急医療体制の確保 【1-(4)】 3 子育て支援体制の充実 【3-(2)】 4 <ul style="list-style-type: none"> 利用希望に沿った教育・保育の提供 【2-(1)】 より質の高い教育・保育の推進 【2-(2)】 多様な保育サービスの充実 【3-(3)】 5 子育て家庭にやさしい生活環境の整備 【3-(5)】
		目標④ 社会的支援の必要性が高いこどもや家 庭に対する支援	<ol style="list-style-type: none"> 1 <ul style="list-style-type: none"> 児童虐待の発生予防 【4-(1)】 要保護児童の早期発見と迅速・適切な対応 【4-(2)】 2 障害など特別な支援を必要とするこどもへの支援の充実 【4-(3)】 3 ひとり親家庭の自立支援の推進 【4-(4)】 4 厳しい環境に置かれたこどもと家庭への支援 【4-(5)】 5 不登校のこどもへの支援 【5-(1)】 6 特別支援教育、外国にルーツのあるこどもへの支援 【5-(1)】 7 いじめの防止対策 【5-(1)】
	地域や社会が こども・若者を中心に考 えられるようにします	目標⑤ 地域における子育て支援環境の整備	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域ぐるみの子育て支援のまちづくり 【3-(1)】 2 男女ともに仕事と育児が両立しやすい環境づくり 【3-(4)】

計画策定までのスケジュール

